

4. コミッショナー及び各種委員会事業計画

委員会	事業名	目標	内容	時期
コミッショナー	1. 全国県連盟 コミッショナー会議	・ 日本連盟コミッショナーからの指導助言を受け、県連盟コミッショナーの資質向上を図り、県連盟内に対し日本連盟コミッショナー方針を推進する。	・ 全国県連盟コミッショナー会議への出席及び研修	年3回 兵庫県姫路市、NYC他
	2. 中部ブロック 県連盟コミッショナー 会議	・ 中部ブロックの県連盟コミッショナーとの情報交換と方向性を共有し、本運動の発展を目指す。	・ 中部ブロック県連盟コミッショナー会議への出席及び情報交換	年2回 名古屋、石川県
	3. 東海4県連盟 調整会議	・ 東海4県連盟の定型訓練他各種事業の連携と調整を行い、効率良い運営を図る。	・ 次年度、東海4県連盟開催の定型訓練コースの調整及び情報交換等	年1回 名古屋
	4. 県連盟正副 コミッショナー会議	・ 県連盟コミッショナー方針を共有し、コミッショナー事業等の協議・審議・調整を図り、本運動の教育に関し円滑な運営を目指す。	・ 全国県連盟コミッショナー会議の報告及び各委員会への伝達・調整、地区コミッショナー会議について審議	年6回 静岡県青少年会館
	5. 地区コミッショナー 会議	・ 県連盟コミッショナー方針を展開するための県連盟内指導者の教育、指導等を行えるよう、地区コミッショナーの知識技能心構えを高める。	・ 県連盟内指導者の教育、指導を行うために地区コミッショナーとしての知識技能心構えの習得および全国県連盟コミッショナー会議をはじめ最新情報の伝達	年6回 静岡県青少年会館 中部ブロック会場 (1回)
	6. 地区・団担当 コミッショナー 研究集会	・ 県連盟コミッショナーの方針を展開するための知識・技能の向上を図り、団・隊指導者への支援を行えるよう、地区・団担当コミッショナーの資質向上を図る。	・ 団・隊指導者への支援を行うために地区・団担当コミッショナーとしての知識技能心構え習得の研修	年1回 静岡県青少年会館
	7. 地区訪問	・ 県連盟コミッショナー方針に基づく進め方を理解し、具体的に展開するための課題の明確化と対応策を検討する。	・ 地区行事・会議等に出席し、県連盟コミッショナー方針の具体的な説明と意見交換	全地区
	8. 富士章受章スカウト 県知事表敬	・ 富士スカウトとして、知事に受章の喜びと将来への決意を語り、知事から激励を受け、更なる飛躍を目指す。	・ 富士章受章スカウト対象者の県知事（連盟長）表敬	年1回 静岡県庁
	9. 理事会	・ 理事会の内容を把握し、県連盟コミッショナーチームとして共有する。	・ 県連盟副コミッショナーとして理事会に参席	年6回 静岡県青少年会館
	10. 全国県連盟 ディレクター研究集会	・ 日本連盟トレーニングチーム方針を共有し、各県連盟との情報交換と県連盟内にトレーニング方針を周知する。	・ 日本連盟トレーニングチーム方針と情報伝達、各県連盟ディレクターによる研究と報告会	12月3日～4日 NYC
	11. トレーナー面談	・ 継続委嘱対象トレーナーの実績評価と励ましを行い、トレーナーとしての資質向上を図る。	・ 2年に一度、継続委嘱されるトレーナー対象者との面談を行い、継続意思の確認と2年間の実績を振り返る。今後の課題を確認	年1回 静岡県青少年会館
	12. 県連盟トレーニング チーム研究集会	・ 指導者の育成に必要な訓練方法及び手段について研究し、チーム員として自らの資質向上を図る。	・ 正副トレーナーおよびトレーニングチーム員の役割に合わせた実務研修	6月19日 11月5日～6日
	13. 県連盟トレーニング チームメンバー 養成研修会	・ 県連盟トレーニングチームメンバーに必要な知識、技能、心構えを学び、メンバーの一員となることを目指す。	・ 主に定型訓練に必要なセッション展開の方法や運営に関わる研修	令和4年3月11日～12日 静岡県青少年会館
	14. 県連盟 トレーニングタスク チーム	・ 指導者の資質向上のため、指示された目的を達成するとともに、スタッフの指導能力向上を図る。	・ 指示された研修及び作業を展開することやトレーニングチームメンバーによるインサポートサービスを実施	通年
	15. ディレクター会議	・ 指導者訓練の企画及び内容について審議する。	・ トレーニングチーム事業の企画・計画やトレーニングチーム員の把握	年6回 静岡県青少年会館

総務・広報委員会	1. 主要会議の実施	・ 定時総会、理事会、納涼/賀詞交歓会等 主要会議の開催	・ 会議の企画、準備、運営を効率的に行う (Web会議活用を推進)	理事会：6回 定時総会：6月11日 納涼：8月10日 賀詞：1月7日
	2. 県連広報活動	・ ホームページの活用促進と機関紙「たちばな」の発行	・ ホームページ/「たちばな」の情報発信と 情報共有の取組み強化 ・ 「たちばな」の購読料改定及び配布部数 の変更	たちばな：4回/年
	3. 専門チームの管理	・ 「国際活動サービsteam」及び「医療 チーム」の整備	・ メンバー登録と管理の仕組み作り	
	4. 危機管理	・ 「災害行動マニュアル」「危機管理 マニュアル」の整備と活用	・ マニュアルの見直しと活用方法の検討	
組織拡充・地域連携委員会	1. 組織拡充推進	・スカウト運動の啓蒙と普及	・「ワクワク自然体験あそび」の推進	9月～2月 随時 (SKCでの呼掛)
	2. 組織拡充顕彰	・入団勧誘の促進と賞賛 ・団、隊の活性化支援	・友情章による顕彰(ネームプレート) ・たちばな賞による団顕彰	随時 県連総会時に表彰 随時
	3. 団運営力向上	・団運営活性化の支援 ・団運営指導者の資質向上	・ブロック単位でのSKCの開催 ・地区単位でのSKCの開催 ・団分析シートで組織の問題点の洗い出し ・団委員研修所・実修所参加の促進	東・中・西 各ブロック 6月 随時
	4. SNS、HPの活用	・対外発信/PRの強化 ・活動情報の共有	・「SNS活用講座」の開催 ・県連SNSページの更新 ・日本連盟HPに団のページ開設推進	随時 随時
	5. 地域へのPR力の強化	・対外発信/PRの強化	・活動写真コンテスト、 ・活動写真パネルの作成	県連総会時に開催 随時
	6. 地域社会との協働	・地域社会との協働支援	・全国防災キャラバン支援 (日連・イオン共催) ・防災合宿の推進 ・「体験の風を吹かそう」 ・緑の募金事業を計画する ・緑化推進事業支援と支援金配布	東中西予定 随時 東中西予定 春、秋を検討 随時
	7. 緑の募金・緑化推進 事業の支援	・緑の募金事業の推進 ・緑化推進事業支援		
	1. ボーイスカウト 講習会	・ 教育規程の定める目的を達成する。 ・ 新しい指導者を養成する。 ・ 運動の趣旨を社会に周知させる。	・ 教育規程8-4に定める定型訓練 (導入訓練課程)の実施 ・ 1日型での開催	10会場/年 5月・6月・7月・9月 11月・R4年1月・3月
	2. ウッドバッジ研修所 スカウトコース	・ 教育規程の定める目的を達成する。 ・ 指導者の資質向上を図る。 ・ トレーニングチームメンバーの指導 能力向上を目指す。	・ 教育規程8-6に定める定型訓練 (隊指導者基礎訓練課程)の実施 ・ 3泊4日の野営にて開催	5月4日～7日 9月16日～19日
	3. ウッドバッジ研修所 課程別研修	・ 教育規程の定める目的を達成する。 ・ 指導者の資質向上を図る。	・ 教育規程8-6に定める定型訓練 (隊指導者基礎訓練課程)の実施 ・ BVS課程 CS課程 BS課程 VS課程 各1日型	5月22日 10月2日
	4. 団委員研修所	・ 団運営者としての責任を理解。 ・ 団の運営能力の向上とスカウト運動 のさらなる理解。	・ 教育規程8-10に定める定型訓練 (団委員基礎訓練課程)の実施 ・ 2泊3日の舎営にて開催	9月17日～19日
	5. コミッショナー ベーシック トレーニング	・ コミッショナーの任務を理解し その任務を遂行する能力を身に つける。	・ 教育規程8-12に定める定型訓練 (コミッショナー共通訓練課程) の実施	9月22日～25日
	6. コミッショナー 任務別研修	・ 地区正副コミッショナーの任務を 理解し、その任務を遂行する能力を 身につける。	・ 教育規程8-13に定める定型訓練 (コミッショナー専門訓練課程) の実施 ※地区コミッショナー課程	10月15日～16日

7. ウッドバッジ実修所 カブスカウト課程	・教育規程の定める目的を達成する。	・教育規程8-7に定める定型訓練 (隊指導者上級訓練CS課程)の実施	4月30日～5月3日
8. 日本連盟 トレーニングチーム メンバー養成コース	・指導者の資質向上のため指導能力の 優れたトレーナーを養成する。	・日本連盟が定める集合訓練コース ・副リーダートレーナーコース及び リーダーコースへの参加	ALTC 6月8日～12日 LTC 6月22日～26日
9. 日本連盟訓練研修	・役務遂行に必要な技能を高める。 ・指導者への支援能力向上を目指す。	・日本連盟が開設する定型外訓練・ 各種セミナーへの参加	

指導者委員会	10. ユース活動支援	・次世代を担う指導者を育成するため研修・訓練参加を支援する。	・ユース年代に対する定型訓練参加費の助成	通年
	11. 定型外訓練	・トレーナーを中心としたタスクチームを活用して隊指導者の指導技術をレベルアップさせる。	・隊指導者対象に実施し体験型学習により指導技術の強化と隊プログラムの活性化を目指す。	11月26日～27日
	12. 定型訓練 所長会同	・所長に必要な技能・心構えについて理解を深める。 ・コースの所員・本部員の調整を図る。	・指導者の現状を把握し定型訓練の目的の確認とスタッフの選任調整を行う。	12月12日 静岡県青少年会館
	13. 講習会主任講師 地区担当者会同	・主任講師に必要な知識・技能・心構えについて理解を深める。 ・開設事務手順を共有する。	・ボーイスカウト講習会の目的・目標・運営方法について共通理解を図る。 ・開設事務手順・会計様式等を確認する。	12月12日 静岡県青少年会館
	14. 日本連盟 トレーナー研究集会	・教育規程による継続委嘱推進を図る。 ・トレーナーの指導能力向上を目指す。 ・県内トレーナーのコミュニケーションを図る。	・日本連盟リーダー・トレーナー・副リーダー・トレーナー（日本連盟トレーニングチーム）対象の定型外訓練	R5年2月5日 静岡会場
	15. 指導者委員会	・指導者委員会事業の実施および企画・計画について協議する。	・指導者委員会事業推進に関する協議 ・コミッショナー・スカウト委員会等各委員会との事業調整に関する協議 ・委員会事業の評価と次年度計画	指導者委員会 年5回開催
	16. セーフ・フロム・ハーム普及 フォーラム	・地区におけるセーフ・フロム・ハームに関する理解と普及。	・地区セーフ・フロム・ハーム普及フォーラムの実施と支援	各地区にて実施
	17. 安全普及フォーラム	・地区における安全管理・安全教育に関する理解と普及。	・地区安全普及フォーラムの実施と支援	各地区にて実施
	21. 野営場備品の 維持管理	・各野営場の維持管理。 ・県連盟野営場備品の保守管理。 ・令和4年度定型訓練コースに向けての準備。	・管理チームによる県連野営場備品の保守管理 ・太田山倉庫・MOA大仁倉庫・旧大仁高校倉庫及び桃沢倉庫の維持管理 ・備品台帳の作成	管理チーム会議 年5回開催
22. 団委員長・地区 指導者養成委員長 に対する研修	・現行指導者訓練体系の再確認。 ・隊指導者育成についての研究。 ・団における任務中の支援の理解。	・組織拡充・地域連携委員会との協働による研修の実施 ※ブロック別S K Cにて実施		
スカウト委員会	1. 進歩の促進	・現進歩課程への積極的な取り組みへの支援	・富士スカウトの育成のため面接を通して賞賛と激励を行う ・富士章・隼章・菊章受章スカウトの顕彰を行うことで、多くの進級意欲の高揚を図る ・スカウト進級手帳の活用を促す ・地区での面接について助言および指導する ・1級章・菊章・隼章・富士章進級スカウトを「たちばな」に掲載して賞賛する ・進歩・進級について教育規程、県連規約などの整合性を図る ・県連内各隊の進歩状況の調査	随時 随時 随時 随時 随時 2022年4月、2023年3月
		・技能章取得の支援	・技能章審査員の委嘱の実施 ・取得が難しい技能章については修会を実施し、取得を支援する	2022年4月、随時 未定
		・SDGsを積極的に取り入れた活動の推進	・活動のヒントなど情報の収集と発信を行う	随時
	2. 信仰奨励の推進	・明確なる信仰を目指すスカウトへの支援	・信仰奨励を促す研修会等への補助 ・定期的な開催の調査及びその広報	随時 随時
	3. 国際理解の促進 ※国際交流を削除	・海外派遣事業の活動報告会の開催 ・(削除)海外派遣事業実施への調査	・海外派遣スカウト、国際交流スカウトの活動報告会の実施（スカウトフォーラムと同時開催）	2023年3月 2022年12月
	4. 安全なスカウト活動の啓発	・新しい生活様式に対応したスカウト活動の支援	・新しい生活様式のもとでのスカウト活動推進のための情報の収集及び発信	随時
	5. 防災プログラムの研究	・既存のマニュアルの内容の見直しを図る	・県連Webサイトに公開されているマニュアルを現状に即すように見直しを行う	随時
6. JOTA/JOTIの推進	・JOTA/JOTIに多くのスカウト参加する	・各団、各地区での開催を促すとともに県連に基地局を設置し多数のスカウトが参加で	2022年10月	

			きる体制を作る	
	7. 委員会開催	・スカウト委員会事業の企画・計画・評価	・委員会活動方針検討 ・委員会主管事業の推進 ・進歩に関する啓発活動の推進	対面4回/年 オンライン8回/年 県連Webサイトでの 情報発信
女性・ユース活躍委員会	1.VSフォーラムの実施展開	・各地区でアフターフォーラムが実施でき 次回の全国フォーラムにつながる	・ジャパンリーグ静岡2022でフォーラム開催予定 ・各地区でのフォーラムの開催支援を図り 県連フォーラム参加につながるよう支援する	令和4年8月9日(火) 令和5年1月15日(日)
	2.RSの活動を支援する	・RSが団、地区、県連で活躍できる	・日本連盟や中部ブロック、県内各地区と連携 できるように支援する	通年
	3.次世代チームの活動支援	・次世代のあり方について情報共有化を図る	・次世代タスクチームで収集した情報をまとめる ・次世代のあり方について提言できるよう支援する	通年
	4.女性指導者の活躍を支援	・県連、地区、団で女性指導者が活躍できる	・女性指導者の活動実態をまとめる ・専門の講師による研修会の実施	通年 (未定)
	5.ユース年代のトレーニング支援	・ユース年代の指導者訓練への参加を向上する	・トレーニングへの参加支援と積極的な奨励 ・トレーニングを通じたユース年代の活躍の場をさぐる	通年 通年
	6.ユースチーム静岡の支援	・ユースチーム静岡への加入を促進する ・ユースチーム静岡の活躍を支援する ・ユースチーム静岡の活動を広く周知する	・コミッショナーと協働し35歳以下の 人材発掘および加入促進を図る ・ユースチーム活躍のため日本連盟や中部ブロック、 県内各地区と連携できるよう支援する ・活動の周知を行う	通年 通年 通年
18 行 委 員 会 実 施	1. 委員会の開催 2. 静岡大会の実施	静岡会場の実施		
25 委 員 会 準 備	1.委員会開催	・25WSJ県連派遣隊の編成	・募集活動の推進 ・派遣隊の編成 ・日連及びブロック(分団)との調整	
その他	1. 県連盟 定時総会		6月11日(土) アザレア	
	2. 県連盟 納涼交歓会		8月27日(土) 静岡市内	
	3. 県連盟 賀詞交歓会		2023年 1月7日(土) ホテルアソシア静岡	